

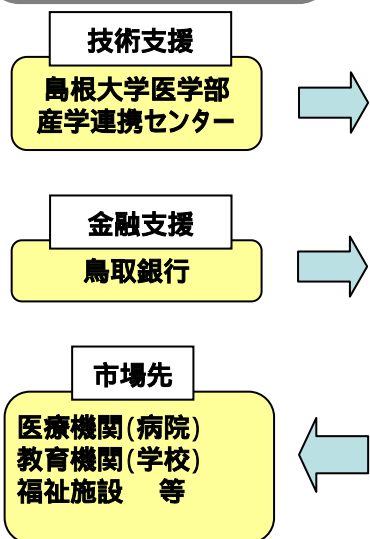
地域	島根県出雲市	認定日	平成19年2月22日	6 - 18 - 021
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	IT	

## 事業名: エージェント型マルチメディア双方向通信システム「ミュート」の事業化

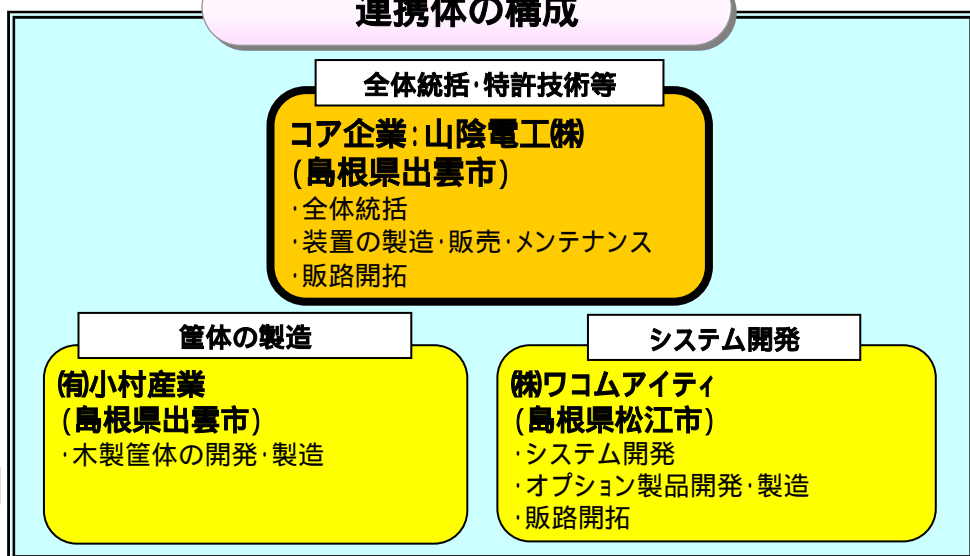
### 事業概要(新規性、市場性等)

- ・中山間地や離島においては医師不足が深刻な問題となっていることから、都市部の中核的な病院の専門医が通信システムを活用して、遠隔診療で対応する方策が検討されているが、現状では画質が不鮮明で患部の詳細が確認できないこと等から普及に至っていない。
- ・また、中長期にわたり入院する小児患者は自分が通っている学校の友達と直接的なコミュニケーションがとれないため、不安感・焦燥感が増すケースや退院後の学校生活に順応しにくいケースが生じる等の課題を有している。
- ・本事業では、鮮明な画質を有するとともに、容易な操作性と音声や手書きの文字・絵によるコミュニケーションが可能な双方向の動画通信システムを安価に製造、販売する。
- ・病院や学校等を主要な市場ターゲットとして事業展開を図る。

### 事業推進体制



### 連携体の構成



ミュート

### 支援予定メニュー

補助金  
信用保証

カメラはズーム、上下左右旋回可能  
モニターは左右旋回可能



## 連携のきっかけ、特徴

- 山陰電工株式会社(以下、弊社)は主に電気工事業を営んできたが、公共事業の削減や不況により住宅建設が減っていることを受け、公共事業への依存体質から脱却すべく、新事業として島根大学の花田先生発案による多目的エージェント型遠隔通信システム(Multi-purpose Telecommunication Agent system、MuTA、商品名「ミュータ」)の製作販売をチャレンジするに至った。
- システム本体は弊社のみで作成できたが、オプション機能としてソフトウェア開発が必要となり、弊社にはその知識や技術が無かったので、花田先生と共同研究を行っていた株式会社ワコムアイティを連携先として選定した。同社には現在、ミュータライト専用ソフトの開発を担当している。また温もりが感じられる木製の筐体作りを計画したが、弊社は専門外で技術が不足なため、建具、木材加工で実績のある有限会社小村産業と連携を行った。
- このように島根県東部の三社が集まり、「ミュータ」を製作販売する連携体「ミュータプロジェクト」を構築した。それぞれが得意とする分野で連携し、コア企業の山陰電工株式会社(電気配線組立、出雲市)と株式会社ワコムアイティ(システム・ソフトウェア開発、松江市)・有限会社小村産業(木材加工、出雲市)が一つの商品を作り上げている。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	山陰電工株式会社 代表取締役 飯島 正紀	
所在地	島根県出雲市常松町402	
創業	昭和41年8月	
資本金・従業員数	2,000万円	30名
業種	電気工事業	
T E L	0853-21-1734	
F A X	0853-21-3541	
ホームページ	<a href="http://www.sanindenkenko.co.jp/">http://www.sanindenkenko.co.jp/</a>	
e - m a i l	info@sanindenkenko.co.jp	

## PR等その他の情報

- ・双方向遠隔通信を利用する市場は無限に考えられるが、大きく分けて「医療」・「教育」・「自治体」・「福祉」・「一般」の5つをターゲットとして販売活動を進めたい。離島、過疎地の病院と、基幹病院との診療連携や、いじめ・不登校対策、自治体のサービス向上、福祉施設での利用、冠婚葬祭での利用と様々な用途が考えられる。医療・福祉関係では商談が進みつつあり、海外ウエディングでの利用も考えられる。
- ・イノベーションジャパン(9月・東京)、日本自治体病院学会(9月・東京)、HOSPEX Japan 2007(11月・東京)医療情報学連合大会(11月・神戸)にそれぞれ出展予定